

## 第47期 中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



<http://www.gmb.jp/>

〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3  
TEL.0745(44)1911(代) FAX.0745(44)1930



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第47期上半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の事業の概況などにつきまして、ここにご報告いたします。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

事業の概況……………1  
 財務ハイライト（連結）……2  
 会社概要……………3  
 連結財務諸表（要旨）……4  
 事業内容……………6  
 GMBネットワーク…………8



代表取締役会長  
松岡 信夫



代表取締役社長  
南北 一雄

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日の6ヶ月間）における経済状況は、世界的な金融市場の混乱が本格的に実態経済に影響を及ぼし始め、わが国の景気は後退局面入りが確実となり、景気の減速感先進国にとどまらず新興国にも及んできました。また、自動車業界においても、先進国の販売が一段と低迷するとともに、新興国における販売も徐々に停滞傾向に向かっております。

このような環境のなか、当社グループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において販売強化に努めた結果、欧州向け販売が増加するなど概ね順調に推移いたしました。また、海外生産移管の加速などによるコスト削減努力や、原材料価格の上昇を製品価格へ転嫁することで吸収すべく尽力いたしました。

さらに、在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も加えた結果、当第2四半期連結累計期間の業績（前年同期比増減率は参考として記載）は、売上高が19,971百万円（前年同期比9.8%減）となり、営業利益は1,487百万円（同10.8%減）、経常利益は1,544百万円（同7.1%減）、四半期純利益は732百万円（同17.2%増）となりました。

【 主要な品目分類別の販売状況 】

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、中国生産拠点を活用した欧州向けユニバーサルジョイントの販売や、韓国新車用部品市場におけるバルブスプールの販売が引き続き順調に推移しましたが、為替換算の影響もあり、売上高は9,032百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

エンジン部品部門は、欧州・東南アジアの補修用市場や韓国新車用部品の販売が増加しましたが、為替換算の影響により、売上高は5,249百万円（同1.9%減）となりました。

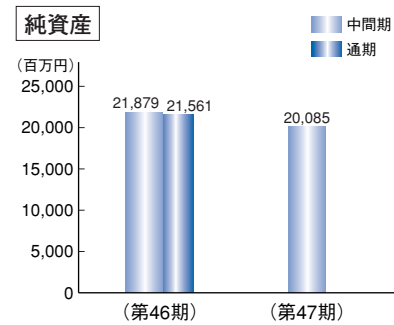
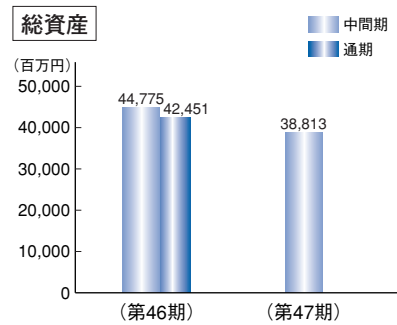
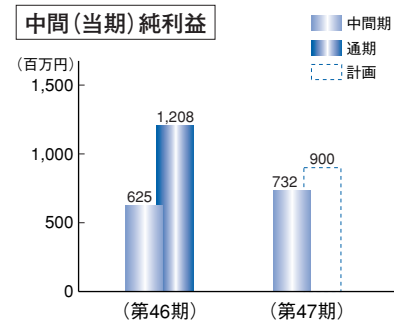
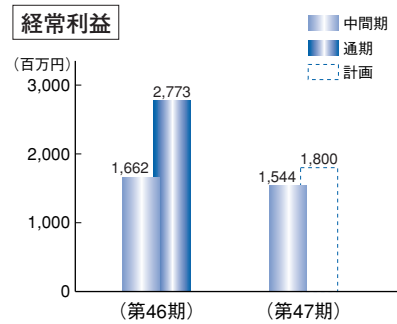
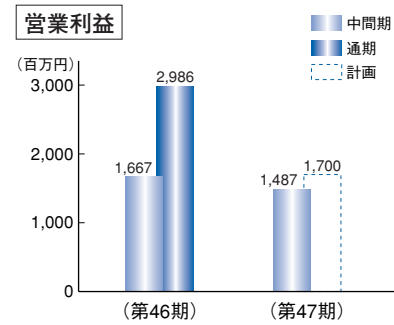
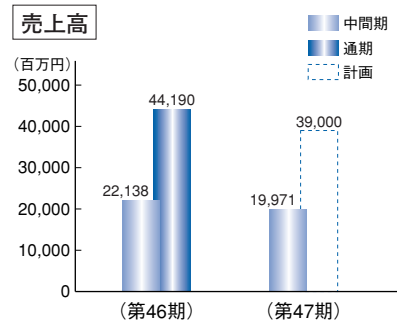
ベアリングその他部門は、韓国子会社が生産するテンショナー・アイドラー・ベアリングの新車用部品での販売が減少したことなどにより、売上高は5,689百万円（同9.4%減）となりました。

【 所在地別セグメントの業績 】

**日本** 欧州向けの輸出を中心に国内外の販売が順調に推移するとともに、製品価格への価格転嫁や海外生産移管による生産合理化や経費削減に取り組んだ結果、売上高7,271百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益730百万円（同52.6%増）となりました。

**北米** 連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.においては、引き続き補修用部品の中国製品などの価格競争のなかで売上高は減少し、販売経費の削減にも取り組みましたが、売上高1,157百万円（同30.1%減）、営業損失83百万円（前年同期営業損失69百万円）となりました。

**アジア** 連結子会社のGMB KOREA CORP.において、韓国自動車メーカー及び系列部品メーカー向けや海外部品メーカー向けの販売は、一部新車販売の減速の影響もあるなかでも概ね順調に推移しましたが、円高韓国ウォン安の為替変動により円換算後の売上高は減少することとなりました。また、他の連結子会社を含め継続する原材料価格の上昇を十分に吸収することができなかったため、採算も悪化することとなりました。これらの結果、売上高11,543百万円（前年同期比16.3%減）、営業利益775百万円（同39.0%減）となりました。

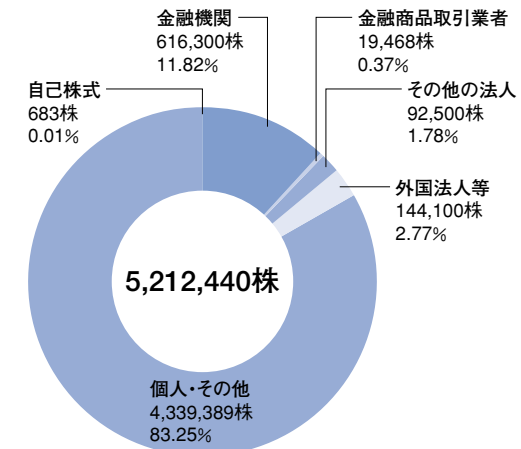


株式の状況

- 発行可能株式総数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 5,212,440株
- 株主数 2,082名
- 大株主

| 株主名                             | 当社への出資状況      |           |
|---------------------------------|---------------|-----------|
|                                 | 持株数           | 出資比率      |
| 松岡信夫                            | 1,096,775 (株) | 21.04 (%) |
| 松岡登志夫                           | 700,350       | 13.44     |
| 松岡光子                            | 416,375       | 8.00      |
| 松岡百合子                           | 320,625       | 6.15      |
| GMB従業員持株会                       | 312,570       | 5.99      |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)         | 233,900       | 4.49      |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)         | 159,400       | 3.06      |
| 松岡弘枝                            | 122,500       | 2.35      |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505025 | 107,600       | 2.06      |
| 金本順子                            | 98,750        | 1.89      |

■ 所有者別株式分布状況



会社概要

- 商号 GMB株式会社
- 会社設立 昭和37年5月
- 資本金 838,598,000円
- 代表者 代表取締役会長 松岡信夫  
代表取締役社長 南北一雄
- 従業員数 連結 2,649名 単体 469名
- 事業所 本社・奈良工場  
〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3  
TEL. (0745) 44-1911 (代) FAX. (0745) 44-1930  
Web Site <http://www.gmb.jp>  
八尾工場  
〒581-0814 大阪府八尾市楠根町2丁目58番地  
TEL. (072) 997-1521 (代) FAX. (072) 997-2481
- グループ会社 GMB KOREA CORP. (韓国 慶尚南道昌原市)  
GMB NORTH AMERICA INC. (アメリカ ニュージャージー州)  
山東吉明美工業有限公司 (中国 山東省肥城市)  
青島吉明美機械制造有限公司 (中国 山東省萊西市)  
THAI GMB INDUSTRY CO., LTD. (タイ プラチンブリ県)  
青島吉明美汽車配件有限公司 (中国 山東省即墨市)
- 役員 代表取締役会長 松岡信夫  
代表取締役社長 南北一雄  
取締役副社長 水谷晃  
専務取締役 阪口有一  
常務取締役 森勝  
常務取締役 金本現一  
常務取締役 小菅清  
常勤監査役 安藤政喜  
社外監査役 平野邦男  
社外監査役 浜本章

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目        | 前中間期         | 当中間期         | 前 期          |
|------------|--------------|--------------|--------------|
|            | 平成19年9月30日現在 | 平成20年9月30日現在 | 平成20年3月31日現在 |
| 資 産 の 部    |              |              |              |
| 流動資産       |              |              |              |
| 現金及び預金     | 5,344        | 3,865        | 4,901        |
| 受取手形及び売掛金  | 8,055        | 6,087        | 7,882        |
| たな卸資産      | 8,032        | 8,046        | 7,656        |
| 繰延税金資産     | 205          | 227          | 204          |
| その他        | 920          | 959          | 642          |
| 貸倒引当金      | △124         | △86          | △166         |
| 流動資産合計     | 22,434       | 19,100       | 21,119       |
| 固定資産       |              |              |              |
| 1 有形固定資産   |              |              |              |
| 建物及び構築物    | 4,534        | 4,022        | 4,364        |
| 機械装置及び運搬具  | 8,917        | 7,348        | 8,154        |
| 土地         | 6,321        | 5,891        | 6,105        |
| 建設仮勘定      | 650          | 864          | 913          |
| その他        | 620          | 499          | 528          |
| 有形固定資産合計   | 21,045       | 18,626       | 20,066       |
| 無形固定資産     |              |              |              |
| のれん        | 96           | 68           | 82           |
| その他        | 264          | 253          | 256          |
| 無形固定資産合計   | 360          | 322          | 339          |
| 投資その他の資産   |              |              |              |
| 投資有価証券     | 195          | 116          | 152          |
| 繰延税金資産     | 383          | 267          | 357          |
| その他        | 445          | 389          | 445          |
| 貸倒引当金      | △89          | △10          | △29          |
| 投資その他の資産合計 | 935          | 763          | 926          |
| 固定資産合計     | 22,341       | 19,713       | 21,332       |
| 資産合計       | 44,775       | 38,813       | 42,451       |

| 科 目            | 前中間期         | 当中間期         | 前 期          |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
|                | 平成19年9月30日現在 | 平成20年9月30日現在 | 平成20年3月31日現在 |
| 負 債 の 部        |              |              |              |
| 流動負債           |              |              |              |
| 支払手形及び買掛金      | 7,104        | 4,191        | 5,508        |
| 短期借入金          | 3,535        | 2,757        | 2,446        |
| 1年以内返済予定の長期借入金 | 1,978        | 2,117        | 2,185        |
| 1年以内償還予定の社債    | 300          | 600          | 900          |
| 未払法人税等         | 520          | 577          | 580          |
| 繰延税金負債         | 866          | 742          | 719          |
| 賞与引当金          | 201          | 189          | 213          |
| 製品保証引当金        | 366          | 244          | 284          |
| その他            | 2,300        | 1,835        | 2,211        |
| 流動負債合計         | 17,172       | 13,256       | 15,049       |
| 固定負債           |              |              |              |
| 社債             | 600          | —            | —            |
| 長期借入金          | 2,134        | 2,893        | 3,117        |
| 繰延税金負債         | 7            | 25           | —            |
| 退職給付引当金        | 2,142        | 1,696        | 1,846        |
| 役員退職慰労引当金      | 300          | 245          | 312          |
| 負ののれん          | —            | 140          | —            |
| その他            | 539          | 469          | 563          |
| 固定負債合計         | 5,723        | 5,471        | 5,840        |
| 負債合計           | 22,895       | 18,728       | 20,889       |
| 純 資 産 の 部      |              |              |              |
| 株主資本           |              |              |              |
| 資本金            | 838          | 838          | 838          |
| 資本剰余金          | 988          | 988          | 988          |
| 利益剰余金          | 13,209       | 14,286       | 13,700       |
| 自己株式           | △1           | △1           | △1           |
| 株主資本合計         | 15,034       | 16,111       | 15,525       |
| 評価・換算差額等       |              |              |              |
| その他有価証券評価差額金   | 30           | 7            | 25           |
| 為替換算調整勘定       | 1,674        | 118          | 1,031        |
| 評価・換算差額等合計     | 1,705        | 126          | 1,057        |
| 少数株主持分         | 5,140        | 3,846        | 4,978        |
| 純資産合計          | 21,879       | 20,085       | 21,561       |
| 負債・純資産合計       | 44,775       | 38,813       | 42,451       |

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目             | 前中間期                      | 当中間期                      | 前 期                       |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
|                 | 自平成19年4月1日<br>至平成19年9月30日 | 自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日 | 自平成19年4月1日<br>至平成20年3月31日 |
| 3 売上高           | 22,138                    | 19,971                    | 44,190                    |
| 売上原価            | 17,652                    | 15,874                    | 35,503                    |
| 売上総利益           | 4,485                     | 4,097                     | 8,686                     |
| 販売費及び一般管理費      | 2,818                     | 2,609                     | 5,700                     |
| 営業利益            | 1,667                     | 1,487                     | 2,986                     |
| 営業外収益           | 170                       | 214                       | 173                       |
| 営業外費用           | 175                       | 157                       | 386                       |
| 経常利益            | 1,662                     | 1,544                     | 2,773                     |
| 特別利益            | 37                        | 124                       | 64                        |
| 特別損失            | 14                        | 38                        | 45                        |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 1,685                     | 1,629                     | 2,792                     |
| 法人税等            | 608                       | 565                       | 883                       |
| 少数株主利益          | 451                       | 331                       | 700                       |
| 中間(当期)純利益       | 625                       | 732                       | 1,208                     |

POINT - 1 設備投資は13億円

当中間期の設備投資は、主に海外子会社における生産能力の増強や日本からの生産移管などを主目的として機械装置を中心に総額13億円を実施しました。年間42億円の設備投資計画に対して、下半期は需要動向やキャッシュ・フローの状況を検討しながら慎重に対応していく予定であります。

POINT - 2 子会社株式の追加取得による負ののれん

平成20年6月にグループ中核企業である連結子会社GMB KOREA CORP.の株式を追加取得し、出資比率を53.8%から61.7%に引き上げたことに関連して、負ののれんを計上しております。

POINT - 3 売上高は9.8%減少

当中間期の販売動向につきましては、冒頭1ページの事業の概況においても説明しておりますが、欧州向け新車用・補修用部品の販売が順調に推移するなど総じて順調に推移しましたが、在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替相場が円高となったこともあり、結果的に前年同期比9.8%の減収となりました。特に、規模の大きな連結子会社のある韓国ウォンにおきましては急激な円高ウォン安が進行しており、その動向を注視しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目                  | 前中間期                      | 当中間期                      | 前 期                       |
|----------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
|                      | 自平成19年4月1日<br>至平成19年9月30日 | 自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日 | 自平成19年4月1日<br>至平成20年3月31日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 2,360                     | 1,161                     | 3,296                     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △1,497                    | △1,691                    | △2,739                    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | △459                      | △309                      | △377                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | 90                        | △84                       | △5                        |
| 現金及び現金同等物の増減額        | 493                       | △923                      | 175                       |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 3,156                     | 3,332                     | 3,156                     |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 3,650                     | 2,408                     | 3,332                     |

# クオリティこそGMBブランドの証です

## 基本理念

- HIGH QUALITY PRODUCTS
- QUICK DELIVERY
- COMPETITIVE PRICE
- BEST SERVICE

GMBは、4つの基本理念に基づき、製品設計・製造を行っております。機能・強度・耐久性など、自動車部品に求められる基本的な品質を保証するため、多年の豊富な経験を踏まえて日々改善・改良に努めています。

## 主な製造部品

### □ ユニバーサルジョイント

GMBのユニバーサルジョイントは、軽量・小型化を実現するとともに、高い強度や優れた耐久性によって、安全、確実な動力伝達を可能としています。

### □ ステアリングジョイント

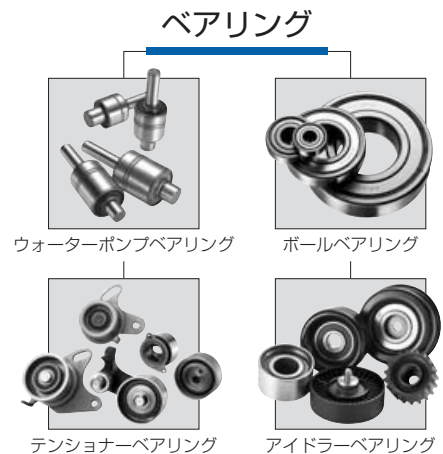
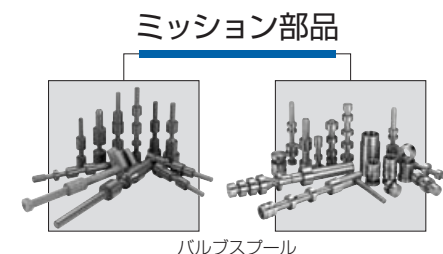
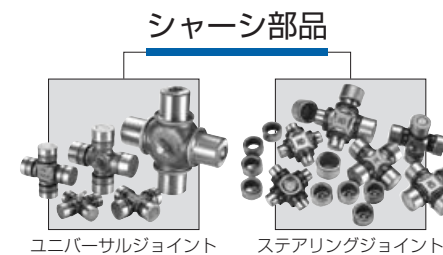
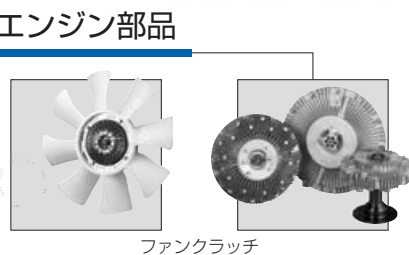
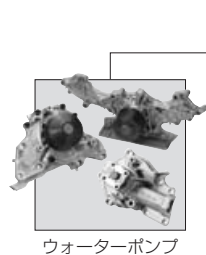
ハンドルの操作性を向上させるために、小型・軽量化が図られています。近年、電動パワーステアリングの普及に伴い、剛性の高い製品が要求されています。

### □ ウォーターポンプ

アルミダイカストやプレスインペラーの採用により、究極の軽量化を達成。さらにベアリング・一体化メカニカルシールを社内生産して低トルク構造と、動力損失の少ない高寿命なウォーターポンプを生産しています。

### □ サスペンションパーツ

GMBはタイヤにおいてサスペンションパーツの素材成形から一貫生産しています。



## 生産工程

GMBは、素材をダイカスト、プレス、切削、研磨などの工程で成形し、その部材を自社で組み立てて製品としています。各工程が、不良品を出さないように厳しく品質管理を続けることで、低コストで、信頼性の高い自動車部品の生産が可能になるのです。



### ダイカスト

ウォーターポンプのボディ&ハウジングを成形します。



### プレス

複雑形状を後加工なしに鍛造成形のみで仕上げるネットシェイプを追求します。



### 切削/研磨

NC加工機群によって鋼材を切削、研磨します。



### 熱処理

加工後の金属組成を調整します。



### 組み立て

社内で生産した信頼の部材を組み立てます。



### 検査

徹底した品質管理で、クレーム・ゼロを目指します。

青島吉明美機械制造有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にベアリング・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

青島吉明美汽车配件有限公司



GMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にバルブスプールの製造をしております。

山東吉明美工業有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にウォーターポンプ・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.



当社の各製品のうち、主にウォーターポンプ・サスペンションパーツの部品及び製品の製造をしております。また、一部タイ国内販売も手掛けております。

当社 (GMB株式会社)



自動車のエンジン部品であるウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売及び各子会社の製品の販売を主に営んでいるとともに、グループ中核企業として先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に海外補修用市場向けに販売を行っております。

八尾工場



GMB NORTH AMERICA INC.  
カリフォルニア倉庫



GMB NORTH AMERICA INC.  
ニュージャージー本社



当社グループ各社の製品を、米国を中心とした北米各国へ補修用部品として販売する販売会社であります。

GMB KOREA CORP.  
第一工場



第二工場



自動車部品等の各種ベアリング製品、エンジン部品であるファンクラッチ・ウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるバルブスプール・ユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売を営んでいるとともに、当社同様に先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に韓国国内の自動車完成品メーカー及びその系列会社への販売が中心であります。

株 主 メ モ

|                      |  |
|----------------------|--|
| 事業年度                 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会               | 6月   |
| 基準日                  | 3月31日  |
| 期末配当金受領株主確定日         | 3月31日  |
| 中間配当金受領株主確定日         | 9月30日  |
| 株主名簿管理人              | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同事務取扱場所<br>(お問い合わせ先) | 大阪府北区堂島浜一丁目1番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>電話 0120-094-777 (通話料無料)  |
| 同取次所<br>(下記ご注意ください)  | 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店<br>野村證券株式会社 全国本支店<br>○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。<br>なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。<br>電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)<br>0120-684-479 (大阪証券代行部)<br>インターネットホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> |
| 公告方法                 | 日本経済新聞に掲載  |
| 上場証券取引所              | 大阪証券取引所市場第二部   |
| 証券コード                | 7214   |

(ご注意) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて  
株券電子化(平成21年1月5日)後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。  
なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

株券電子化前後における単元未満株式買取請求について  
株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。  
(1) 証券保管振替制度をご利用でない単元未満株式  
平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。  
また、平成20年12月25日(木)から平成20年12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。  
(2) 証券保管振替制度をご利用の単元未満株式  
株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。  
具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。